

橋に生きる顔 オリエンタルコンサルタンツ 九州支店技術二部 担当次長 朝隈竜也さん

## 橋に生きる顔

（株）オリエンタルコンサルタンツ 九州支店 技術二部 担当次長 朝隈 竜也



平成7年入社。橋梁設計を中心に行なう。施工監理などにも携わる。平成17年、中堅に差しかつた頃、新田大橋の耐震補強・補修設計を担当する。架橋地は福岡県大川市の筑後川河口付近、調査すると、壊害だけでなくASRも出でていた。

「保全業務は、ただ直せばいいという訳ではない。劣化原因を究明し、それを取り除くことが重要です」

翌18年には、「福岡県道路施設維持管理基本計画」の策定にも携わった。「例えば、河川構造令に合致しない古い橋の場合、安全性からも、いすれば架替えるを得ない。そうした橋は、

が重要です」

「保全計画は、橋梁の置かれた環境や時間経過など、様々な要因を考えて、立案する必要がある」とあります。新設橋梁以上に想像力を必要とする、やりがいのある仕事です」

「これから、維持管理は、新設以上に創造性を要求される仕事だと思います」

（川村淳一）

維持管理こそ創造性

が重要です」

「ようじ、アセットマネジメント」という言葉が浸透して来た頃であり、以来、維持管理分野

が主業務となつたため技術者としての転機となり、思い出に残るところだ。

予防保全にこだわるのではなく、計画的な更新を進言する事も重要です」

今後、多くの橋梁が更新時期を迎える。「インフラを長期かつ総合的に判断する」と、次世代に負の遺産を残すことのないようにする事が我々コンサルの役割だと思っています」

今後、同社では3Dレーザー

やセンサーなどICTを活用

し、より効率的で効果的な維持

管理技術の構築を目指す。